131 「衛生動物」データベース検索用 Windows プログラム ESEARCH について

○高井憲治（聖マリアンナ医大・免疫病害動物）

On a Windows' program: ESEARCH to browse Eidobase.

Takai K.

本学会創立 50 周年事業でデータベース化された CSV ファイルの検索のためには前田理氏の作られたプログラムがあるが、今回以下のような特徴をもった Windows3.1 対応のプログラムを作成した（NEC98 シリーズ用。作成言語 Borland: Delphi）。動作が高速である。キーワード項目からの検索機能。項目内の語に対する検索機能。検索結果表示印刷機能。データベース作成機能。項目長無制限。

本プログラムは CSV ファイルを対象とした高い汎用性をもっており、「衛動」データベース利用のみに特化したものではない。従って前田氏が同時に公開された石井孝氏のアカイエカ文献検索データベースも同様に扱うことができる。キーワード項目についても、独自のリストを作って組み込むことができる。

完成バージョンは、NiftyServe: FBIO フォーラムに公開する予定である。

132 日本に上陸したセアカゴケグモについて （1） 冬期における生息状況

○上村 清、楠本イネス俱子、武田カチア味知枝（富山医薬大・寄生虫）、吉田政弘（大阪府公衛研・医動物）、丸山勝巳（三重県衛研）

Latrodectus mactans hasselti landed in Japan (1) The situation in the winter.

Kamimura K., Kusumoto I.T., Takeda K.M., Yoshida M., Maruyama, K.

毒グモなど外国産衛生動物が日本に侵入し、多発する危険性を、演者の一人上村が 1977 年の第 29 回日本衛生動物学会大会シンポジウムにおいて「流通機構の変革、観光開発のもたらす衛生動物の多発」（衛動, 28:51）と題して、1989 年の全国環境衛生大会特別講演「日本の衛生害虫、世界の衛生害虫」（生活と環境, 34(11):26-29）でも各々指摘しているが、今回の毒グモ騒動はそれが現実のものとなった事件であった。

1995 年 9 月 11 日と 10 月 8 日に大阪湾埋め立て地の大阪府高石市高砂町で竹田吉郎が採集の雌成虫 2 頭を西川喜朗追手門学院大学教授がセアカゴケグモと同定したのが発端で、大阪府の関西空港、忠岡町、泉大津市、高石市、堺市、富田林市や三重県四日市市など沿岸地帯を中心に広く生息しているのが確認され、マスコミで報道された。

演者らは、1995 年 12 月 23 日、1996 年 1 月 3－5 日などにこれら現地を調査し、本種が冬期に殺虫剤散布処理地帯においても生息していることを確認したので報告する。